

レジリアンス・プロジェクト平成 21 年度研究計画 (Research Plan for FY2009)

1. 氏名/所属: 櫻井武司/一橋大学

2. 具体的な研究課題 (今年度)

1) 調査対象地 48 世帯の家計行動の解析

3. 具体的な研究内容 (今年度)

今までの家計調査を継続し, 収集したデータを解析する。

4. 今年度末までの達成予定 (上記の課題毎に, 何をどの程度明らかにできるか)

1) 圃場レベルの降水量変動と農家家計の時間配分を明らかにする。

5. 今年度現地調査予定

1) 時期: 9 月下旬~10 月上旬の 2 週間

2) 目的: 家計調査の状況確認と気象観測装置セッティング

3) 内容/準備状況: 気象観測装置のメンテナンスを含む現地調査の状況を把握し, 改善に向け必要な調整を行う。

6. 次年度以降の計画予定概要

(平成 22 年度)

1) 家計調査を継続するかどうか未定

(平成 23 年度)

1) 論文執筆

7. 成果発表計画

発表予定学術誌 (学術誌名): 未定

発表予定学会 (学会名・時期): 未定

ワークショップ等: ルサカワークショップ

8. その他 (何かあれば)

レジリアンス・プロジェクト平成 21 年度研究計画 (Research Plan for FY2009)

1. 氏名/所属: 菅野洋光/東北農業研究センター

2. 具体的な研究課題 (今年度)

1) 調査対象地における気象データ解析

3. 具体的な研究内容 (今年度)

気象ロボットおよび雨量計のデータ収集を継続し、収集したデータを解析する。

4. 今年度末までの達成予定 (上記の課題毎に、何をどの程度明らかにできるか)

1) 雨量を中心とした気象要素の季節変化・日変化・空間分布に関して、その特性および普遍性を確認し、地域気象特性を明らかにする。

5. 今年度現地調査予定

1) 時期: 9 月下旬~10 月上旬の 2 週間

2) 目的: 気象観測装置セッティング・気象データ回収

3) 内容/準備状況: 現地での気象観測装置のメンテナンスおよびデータの回収を行う。

6. 次年度以降の計画予定概要

(平成 22 年度)

1) 現地気象データ収集の継続とデータセットの整備および解析

2) 気象データと農作物収量変動との関連づけ解析

(平成 23 年度)

1) 現地気象特性の解明

2) 気象データと農作物収量変動と関係の定式化

7. 成果発表計画

発表予定学術誌 (学術誌名): 未定

発表予定学会 (学会名・時期): 日本気象学会・時期は未定

ワークショップ等

8. その他 (何かあれば)

レジリアンス・プロジェクト平成 21 年度研究計画 (Research Plan for FY2009)

1. 氏名/所属: 山内太郎・今小百合/北海道大学

2. 具体的な研究課題 (今年度)

- 1) 調査対象地 48 世帯構成員の身体計測データ解析
- 2) 調査対象地の食生活、行動に関する調査 (予備調査)

3. 具体的な研究内容 (今年度)

身体計測を継続する一方、収集した身体計測データを解析する。
食生活・行動・生業活動に関する集約的調査の予備調査を行う。

4. 今年度末までの達成予定 (上記の課題毎に、何をどの程度明らかにできるか)

- 1) 子どもの経時的な成長データ, 大人の栄養状態の変化を評価する。
- 2) 2010 年度の本調査に向けた集約的調査世帯を決定する。

5. 今年度現地調査予定

- 1) 時期: 8 月~9 月の 2 週間
- 2) 目的: 身体計測状況のチェックおよび 2010 年度本調査に向けた予備調査
- 3) 内容/準備状況: 現地調査員の測定技術のフォローアップを行い, 測定機器の点検補修取り替えを行う。同時に 2010 年度の本調査に向けた予備調査を行う。

6. 次年度以降の計画予定概要

(平成 22 年度)

- 1) 調査対象地 48 世帯構成員の身体計測の継続とデータ解析
- 2) 調査対象地の食生活、行動に関する本調査 (院生が修士論文を作成)

(平成 23 年度)

- 1) 身体計測データのとりまとめ
- 2) 食生活・行動・生業活動と身体指標の関係を分析

7. 成果発表計画

発表予定学術誌 (学術誌名): 国際保健医療学会誌、
発表予定学会 (学会名・時期): 未定
ワークショップ等: ルサカワークショップ (調査時期が合えば)

8. その他 (何かあれば)

大学院生 (今小百合) をメンバーに加えていただきました。修士課程の 2 年間 (H21-22 年度) お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

レジリアンス・プロジェクト平成 21 年度研究計画 (Research Plan for FY2009)

1. 氏名/所属: 下野裕之/岩手大学

2. 具体的な研究課題 (今年度)

1) 調査対象地におけるトウモロコシ収量データ解析

3. 具体的な研究内容 (今年度)

トウモロコシの収量データを収集・解析する。

4. 今年度末までの達成予定 (上記の課題毎に, 何をどの程度明らかにできるか)

1) 2008 年度のトウモロコシの収量の変動要因を気象要素との関係から明らかにする。

5. 今年度現地調査予定

1) 時期: 4 月上旬 (完了済み)

2) 目的: トウモロコシ収量データ収集

3) 内容/準備状況: 現地の栽培試験地でトウモロコシ収量データを回収する。

6. 次年度以降の計画予定概要

(平成 22 年度)

3) 気象データとトウモロコシ収量変動の要因解析

(平成 23 年度)

3) 簡易モデルによるトウモロコシ生産の変動要因の解明

7. 成果発表計画

発表予定学術誌 (学術誌名): 未定

発表予定学会 (学会名・時期): 未定

ワークショップ等

8. その他 (何かあれば)